第17号

ひじり

■発行所
●聖徳学園高等保育学校同窓会
●聖徳学園短期大学教員養成所同窓会
●聖徳学園短期大学附属保母養成所同窓会
●聖徳大学幼児教育専門学校同窓会

〒108-0073
港区三田3丁目4番28号
電話03(5476)8811代表

聖徳大学幼児教育専門学校ホームページ
http://www.seitoku.jp/kttcsu

ごあいさつ

理事長・学園長 川並 弘昭

長らくご無沙汰致しておりますが、ひじり会の皆様にはご健勝にてお過ごしの事とお慶び申し上げます。

本学専門学校は今春三月には第六十二回の卒業式を終えこれでひじり会の会員は一万二千七百六十三名となり、ますますのご盛況を嬉しく存じております。

ひじり会会員の方々もあらゆる業界で活躍しており、ことに保育界では、目覚しいものがございます。

二年前のひじり会旅行で最北端の町、北海道礼文島に参りました時には昭和二十五年（一九五〇年）に卒業した方（当時七十三才）が情報を聞きつけて港にお出迎えくださいました。一同大感激をしたことを覚えております。彼女も幼稚園の現役で重要な責務を果たしておられました。

父の蒔いた一粒の種が全国に散らばり開花している事を感ぜずにはおられませんでした。

さて、ひじり会は昭和三十六年（一九六一年）現附属幼稚園園長（私の家内）が本校を卒業する際に創設されたものです。

当時は全学連などの学生運動が活発で、学生達が自己を強く主張する時代でありました。

本学の学生の中にも過激な思想を持つものもおり、同窓会を立ち上げるについて何度か交渉を繰り返し成立させたようです。卒業時に入会金及び永年会費の納入にも苦労したようですが、なんとか全員の納入にこぎつけ、ひじり会はスタート致しました。

年を重ねるごとに会則を整備し、会員名簿の整理、作成を繰り返し、組織が強化されていきました。大学・短期大学部の「香和会」はひじり会が基になり創設されたものです。

初代会長は湊錦子様で次に内野知子様、三代目は本学教授田中シゲ子様で現高橋博子様は四代目となります。

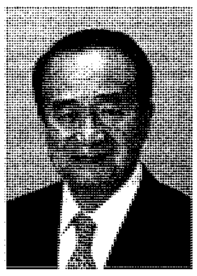
聖徳学園創立七十年を迎えた際に幼稚園から大学院までの全ての同窓会を一本化すべく同窓会連合会が創られましたが高橋博子様は、その連合会の幹事長に就任されています。

ひじり会では十六年前から教養を高め会員の親睦を深める事を目的にして国内外旅行を実施しております。昨年は創立者川並香順の誕生の地、岐阜市次木の光衆寺に参りました。孫や曾孫の読経のもと、皆様方にお参りをして頂き、父もさぞ喜んでいることと思います。

今夏は八月六日から十五日までモーツァルト誕生二百五十年の記念事業にあやかって旅をするそうです。どうぞ皆様、お誘い合わせご参加くださると幸いです。

「保育の聖徳®」の快挙

幼児教育専門学校長 川並 光昭



卒業生の皆様こんにちは！お元気でお過ごしですか。

本校は平成十七年四月に、文部科学省の"専修学校教育重点支援プラン"の募集に応募しました。これは文部科学省が初めて試みる事業であり、全国の国立、公立、私立専修学校三四六七校が対象になっておりました。そして七月、本校の「保育の聖徳・卒業生アフターケアと在校生スキルアップの実践プラン」が採択され、活動を開始いたしました。本校は全国より多数の応募があった中から採択された四十件の中に選ばれ、また幼稚園教員養成機関では唯一の採択となりました。卒業生の皆様には、アンケート実施の際にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

この「保育の聖徳・卒業生アフターケアと在校生スキルアップの実践プラン」は五つのプログラムからなっていますが、特に卒業生をバックアップするための「卒業生アフターケア」の一環としての「カウンセリング業務」や、よりグレードの高い資格への挑戦等を支援する「リカレント教育」は、卒業生の皆様に寄与出来るものとして活動しております。

卒業後、現在保育者になり、どの様なことで悩んでいるか、どの様なことがしたいかを、どうぞ遠慮なく申し出てください。阿部先生はじめ皆様のおなじみの先生方が、悩みに応じ支援いたしますので、ぜひ学校に遊びにいらしてください。

また、本校のホームページでも、卒業生の皆様を支援するためのコンテンツを設けておりますので、有効にご活用ください。

ごあいさつ

会長 高橋 博子

初夏を迎えて、さわやかな気候になって参りました。ひじり会員の皆様、お元気でお過ごしのこととおよろこび申し上げます。

同窓会の活動も全国一万三千名余の卒業生の皆様のご支援はもとより、学園事務局の方々、そして今年三月に卒業なさった新しい会員を交えた役員幹事のご協力で、ますます充実して参りました。感謝申し上げます。

専門学校、学校長川並光昭先生が昨年春、専修学校教育功労者文部科学大臣表彰をお受けになられました。また、学校におかれましては、文部科学省平成十七年度「専修学校教育重点支援プラン」に、全国、国公私立専修学校の中、保育分野では唯一の採択の栄誉を獲得なさいました。これもひとえに学園長先生をはじめ、校長先生そして、母校の教職員皆様の並々ならぬ在校生そして卒業生への教育支援にお力を注いで下さった賜ものと卒業生を代表致しまして、お祝いを申し上げたいと存じます。

学園は二年ほどで、創立七十五周年の大きな節目を迎えます。松戸キャンパスでは、東京聖徳学園で学んだ卒業生にも解放される学習の場となる中央図書館の工事が着々と進んでおります。

また昨年三月に完成した松戸駅前東口の聖徳大学十号館の十一階に、ひじり会を始め、聖徳学園の各校同窓会が一体となって、同窓会連合会事務室が設置されました。

三田校舎におきましても、創立七十周年を記念して新築されたサテライトキャンパスが夕方の空に美しくブルーに輝くのを仰ぎ見ることで、一日の様々な心の波が静かに清らかになる思いがいたします。現在この建物は隣接地に建っていますが、近々現在の校舎が拡張され、学園内になるとのことも聴いております。

学園はますます教育内容、環境の充実に発展し続けております。是非、学校を訪れて下さい。学園では、ひじり会の皆様が学校を訪れて下さることを温かく迎えて下さり、それぞれの施設をご利用下さることを希望しています。

今年は総会を開催する年でございます。学園長先生、校長先生をはじめ、懐かしい先生方も多数ご出席下さいます。ご案内にもございますように当日は音楽を聴きながら、和やかな楽しいひととき、恩師や同窓生、先輩後輩との交流を深めるよい機会でもあります。是非お友達をお誘い下さいまして、お会いできることを楽しみにいたしております。

皆様のご健勝とますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

同窓会のお知らせ

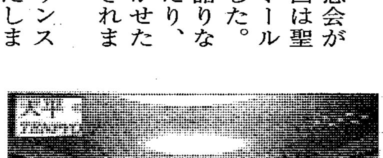
さわやかな初夏の風が吹き抜ける季節となりました。ひじり会の皆様にはお健やかにお過ごしのことと思います。

さて、今年は同窓会が開催されます。前回は聖徳大学クリスタルホールでお逢いいたしました。先生方と思い出を語りながら、旧交を温めたり、積もる話に花を咲かせたひとときが思い出されます。

今年は新高輪プリンスホテルでお逢いいたしましょう。

楽しいアトラクション（歌の演奏会）の準備も進めておりますので、ぜひ積極的なご出席をお願いいたします。

今回ご都合のつかない方も、近況をぜひお知らせ下さい。宴もたけなわのころ皆さんにご紹介いたします。写真やビデオも大歓迎ですのでよろしくお願いいたします。



【日時】
平成十八年七月十五日（土）
十七時三十分～二十時
＊十七時より受付開始

【場所】
新高輪プリンスホテル
天平（てんぴょう・3階）
東京都港区高輪三―一三―一
☎〇三（三四四二）一一一一

【会費】 八千円

☆出欠の連絡は、六月十七日土曜日（必着）までに同封の葉書でご連絡くださいますようお願いいたします。

アトラクション紹介

「Jソロイスツによる
歌の演奏会」

一人ひとりが第一級ソリストのヴォーカルアンサンブル。ディズニーナンバーから日本の歌の数々、心洗われるような美しい歌の宝石を皆様とともに鑑賞したいと思います。

（写真）
・高輪プリンスホテルホームページ
・「ザ・タカナワ」宴会場のご案内
・JソロイスツLIVEDOORBLOG

同窓会連合会事務室設置

同窓会連合会事務室が聖徳大学10号館11階に設置される。

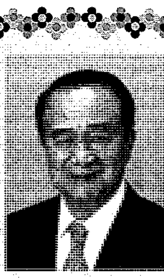
聖徳学園創立70周年を記念して、高さ70メートルの聖徳大学生涯学習社会貢献センター（聖徳大学10号館）が平成17年3月、松戸駅東口1分のところに完成いたしました。ひじり会を始め学園内の幼稚園から大学院の同窓会が一体となって同窓会連合会が平成15年に設立され、本部事務室が10号館11階に設置されました。

ゆったりと流れる江戸川を挟んで遠くに富士山、そして筑波山など展望できる素晴らしいところです。13階にはどなたでも利用できる喫茶スペース、14階ではクラス会や結婚披露宴を開くこともできます。是非ご利用下さい。

専門学校の『今』

聖徳大学幼児教育専門学校は創立七十三年を迎えました。約一三〇〇〇名の卒業生の皆様、母校への想いもいろいろある事と思います。四月に十八年度の新入生を迎え、生き生きと活動を始めています。近年少子化が騒がれ学生数の減少、自由な中で育った学生達の気質、親子関係、家庭のあり方が変化してきている面が見られます。「子どもが好きだから子どもとかかわる仕事がしたい」と、胸をふくらませて入学してくる学生、又「自分の幼児期の体験を通して、出会った優しい先生に認められた嬉しさが心に残り、自分も子ども達の役に立ちたい」と進路を決めたという学生。いつの時代になっても人として大切な事は変わりません。その大切な聖徳の教育の心を継承していく、伝えていく為に「保育の聖徳と言われる専門学校では、「実力のある保育者養成」を合言葉に、校長先生を中心に全教員が近年重要な役割を期待されている保育者を養成する為の「教育の質向上」に取組んでいます。「現場支援」や「卒業生のアフターケアー」「在校生のスキルアップ」等の実践を行なっています。在学中に他の資格（ピア・ヘルパー）（普通救命士）もプログラムに取り組み又、ピアノ室、図書室の充実、情報の部屋も完備され、施設面も狭いながら工夫して活用しています。学生であるからこそ、失敗を恐れずに沢山の体験を通してさすが「保育の聖徳」の卒業生と言われる様に送り出していきたいと頑張っております。

受賞おめでとうございます



川並弘昭校長先生

平成十七年七月十一日
専修学校制度制定三十周年記念
専修学校教育功労者文部科学大臣表彰を受賞

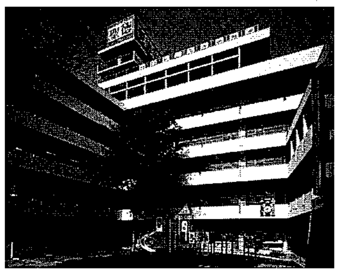
川並知子園長先生

平成十六年文化の日
表彰　教育功労受賞

聖徳大学短期大学部保育科教授、聖徳大学附属小学校主事、聖徳大学附属幼稚園・附属第二幼稚園・附属第三幼稚園・附属浦安幼稚園園長　川並知子先生が、千葉県の「平成十六年文化の日表彰　教育功労」を受けられました。

川並知子先生は、永年にわたり、教育の振興に尽力され多大な貢献をされたことが認められ、今回の表彰となりました。心よりお祝い申し上げます。

力張る専門学校　サポートセンターの『今』



七十数年の歴史を誇る本学は、創立から現在に至るまで、長い年月を重ねてきました。この間に専門学校の事務も歴史を重ね、専門学校「事務室」から「学務課」、今は「サポートセンター」として学生のサポートを行っています。

常に学生の立場を考え、一人一人に親切な対応を心がけ、笑顔「Ｋｅｅｐ Ｓｍｉｌｉｎｇ」を我々が進んで実践し、教職員、学生みんなが笑顔の元、明るい専門学校作りをしています。

事務職員も頻繁に人員が入れ替わりますが、卒業生の母校である本校で変わらぬ対応を心がけています。卒業生の皆様、近くへお越しの際は、ぜひ、学校へも足をお運びください。心よりお待ちしております！

現在の学生サポートセンターメンバーです。

事務長　阿高浩憲（19・1）
グループリーダー
チーフ　高橋洋昭（18・12）
チーフ　菊池直樹（16・0）
スタッフ　蓮見　渉(旧姓赤塚)（13・8）
スタッフ　仲野彩子（10・10）
スタッフ　渡辺　慶（4・3）
スタッフ　大串景子（1・1）
副　手　楠目実香（0・0）
副　手　小澤貴子（3・3）
副　手　村田綾香（1・1）

（　）内は聖徳学園暦・専門学校暦
※0は十八年四月着任になります。

「活気あふれる三田幼稚園」

聖徳学園三田幼稚園

創立七十三年を迎えた今年度は、三歳児一〇五人・四歳児一〇五人・五歳児九十九人とほぼ定員の人数でスタートしました。

アットホームな雰囲気を心がけ、きめ細やかな保育をモットーに日々保育を行ったことが大勢の方に認められたのだと思います。また卒園生が父親・母親となり親子二代で通ってくださる方も多くなりました。少子化で園児減少といわれる幼稚園が多い中、大勢の新入園児を迎えにこにこ元気に過ごしております。

「今、頑張っていること」

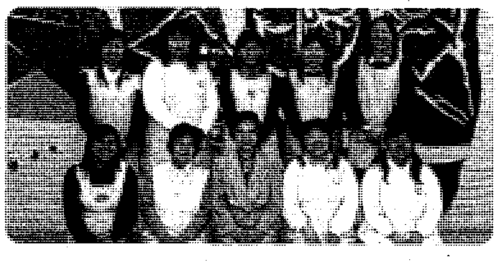
聖徳学園八王子中央幼稚園

聖徳学園八王子中央幼稚園は、高尾山の近くで、自然に恵まれたとても環境の良い所にあります。園目標の「いつもにこにこ元気な子ども」を元に、日々元気いっぱい保育しています。教師も子どもも、裸足で園庭を走り回っています。良く遊び、良く食べ、良く考える八王子幼稚園の教職員と、子ども達は常に笑顔がいっぱいです。一人ひとりが、素敵な笑顔を絶さぬよう、日々明るく元気な先生として頑張っています。

「学校で学んだ様々なこと」

聖徳学園多摩中央幼稚園

専門学校で学び作った、紙コップシアターや手作り絵本は、多摩中央幼稚園において、保育教材として活用しています。子ども達は目を輝かせて夢中で見てくれます。又、日々の保育の中で迷った時、子どもの心情を理解出来ず壁にぶつかった時、学校で学んだ様々な知識がとても役立ち、保育の場で応用する事が出来ています。そして体育で学んだ、リズム遊びの基本が、遊戯を構成する時に大いに生かす事が出来大変心強く思っております。



『専修学校教育重点支援プラン』採択される

平成十七年度専修学校教育重点支援プランは全国の国立・公立・私立専修学校三四六七校を対象とした事業です。本校は全国から文部科学省へ提出された多数の応募の中から、採択された四〇件の中に選ばれました。保育の分野で唯一採択されました。

本校の支援プログラムの活動についてご紹介いたします。

採択事業の「保育の聖徳・卒業生アフターケアと在校生スキルアップの実践プラン」を行う上で、五つの分科会を設け、それぞれ活動を行いました。

第一分科会「卒業生のニーズ把握調査」

第二分科会「保育現場では、どのようなことを求めているかのニーズ把握調査」

第三分科会「学生による現場支援」

第四分科会「相談業務とweb情報についてインターネットを使って」

第五分科会「卒業生へのリカレント教育のプログラムづくりと実施」

この事業を進めるにあたって専任教諭と学生サポートセンターが手を組み、実力のある保育者を育てていく努力をしました。

一つには在校生が保育者として自信がもてるよう、現場支援という形でボランテイアの活動をすすめました。

二つ目には、卒業生のアフターケアとして現場での仕事上何をスキルアップしたらよいかを調査したり、現場ですぐ役に立つような「ピアノレベルアップ講座」「情報機器操作（初級）講座」を開講しました。

『保育の聖徳』に恥じない学生育成に努力しているところです。

オープンキャンパス

専門学校では今、より多くの学生を募るためにオープンキャンパスを実施しています。

学校見学だけでは伝わらない授業の事、学校の雰囲気を肌で感じ、専門学校のアットホームな温かい校風を知ってもらうために実施しているものです。

運営は在学生、1年生、2年生、Ⅱ部生がクラスの代表として参加し、実際の自分の体験談をふまえ、「体験授業」や「在校生とのティタイム」「校内の案内」など全てを運営し参加者を迎えます。

年に9回ほど実施しているこのオープンキャンパスはとても好評で、受験をしたほとんどの生徒が「オープンキャンパスで決めた」との声が寄せられています。

卒業生の皆様のお近くにも、保育者を目指す方がいましたら、是非、「保育の聖徳®」専門学校をご推薦いただければと思います。

今後のオープンキャンパス予定
7月15日(土)・8月5日(土)・8月18日(金)　他

卒業生の「今」

～クラス会だより～

昭和22年3月卒業

昭和41年3月卒業

平成5年3月卒業
保育科II部

「聖徳の教え」

学園での勉学を終え、卒業と共に多摩中央幼稚園に勤務することが出来ました。

昨年は、無我夢中で子どもとひとつになり笑顔で声を掛けていきました。日々成長をしていく子どもの姿に驚き、又、嬉しさを感じました。子ども達の一人ひとりの個性を見つけ出し、共に楽しんでいくという充実した生活をしていると感じます。学生時代にたくさんの先生方に指導をして頂いたことを、現在の保育の現場で生かすことが出来ています。学生時代に経験をした一つひとつが保育者になった自分自身の支えになっていることを強く感じます。今後も子ども達のにこにこ笑顔をたくさん見られるよう、私自身も毎日をにこにこ笑顔で過ごして参りたいと思います。そして、保育者として更に向上していけるように努力していきたいと思います。

平成十七年度卒業　佐々木麻美

娘が卒業をして、一年が過ぎました。私は母として、保育者として指導をする立場になり、子どもの素晴らしい個性をたくさん見て来ました。子どもの知的や創造性には本当に日々違いがあり、大人の考えているような思いより素晴らしい心があります。新しい芽を保育者の言葉掛けで失わないようにと思っております。保育者として子ども達に伝えていけることを日々考え、優しい心を持った人に成長していけるように今後も指導をしていきたいと思います。

娘も年数を積む事により、笑顔の奥には思いやりがあることを感じとることでしょう。親子という関係と共に、同じ保育者として、お互いの経験を話し合い、刺激し合えるようにしていきたいです。そして親子共々、聖徳の教えを胸に保育の現場で役立てていきたいと思います。

昭和五十七年度卒業　佐々木さちよ

「子どもたちの笑顔」

私は双子です。お互いに、より良い先生になるためにと励ましあい、時には競いながら充実した日々を過ごしています。負けず嫌いの私にとっては、喧嘩になることもありますが、身近に本音で語り合える妹がいることは幸せなことと思っています。

専門学校を卒業した私は、新宿区にある「私立　淀橋幼稚園」に就職をし、今年で、十三年目になります。淀橋幼稚園の教育方針に共感している私にとって、創立四十周年記念の式典には新人として、創立五十周年記念の式典には主任として参加でき、保育に携わる仕事を長く続けられたことを心よりうれしく思います。嫁いだために現在は非常勤として、静岡から新幹線に乗り、園に通う日々ですが、創立六十周年に向けて初心を忘れずに頑張っていきたいと思います。自分では若いと思っていても、十三年も経つと周りは若い先生ばかり・・・。今年の入園式でとうとう「おばちゃん」と呼ばれてしまいました。苦笑しながら、どんなに時代が変わろうと、子どもが正直なのは、変わらないものだと実感してしまいました。今私の保育者としての励みとなり、原動力となっているのは、純粋な子どもたちの笑顔と、卒業生が保育者を目指し職場体験に来たり、高校生になっても遊びに来て思い出話をしてくれたりすることです。

平成十七年度には、卒業生支援の一環として先生との対談や、就職ガイダンスで講演をさせていただく事により自分の保育を見直し、目標を明確にすることができました。これからは、今までの経験を活かして後輩の育成にもより一層、力を注いでいきたいと思います。そして、自分の目標に向かって更に努力をしていきたいと思います。

平成五年度卒業　平沢真美

「高齢者と共に」

私は聖徳大学幼児教育専門学校卒業後、同短期大学部専攻科福祉専攻へ進学しました。専攻科修了後、港区白金の特別養護老人ホーム「白金の森」に介護福祉士として勤務しております。

進学当初の進路は保育系でした。それが介護の道へと進むきっかけとなったのは、介護福祉実習での『ある高齢者との出会い』でした。いつも不安そうで寂しそうな表情の女性に、レクリエーションの援助計画を立案・実践と関わったところ、その女性はとても楽しそうな笑顔を見せてくれました。「保育科で学んだピアノや折り紙・工作などの知識や技術を介護の現場で生かしたい」と思ったのです。今は、折り紙やピアノなどを取り入れ、保育科で学んだ私だからこそできる福祉レクリエーションの実践に取り組んでいます。特にピアノは認知症の方へのレクリエーションの一つとしてとても役だっています。

「白金の森」は百人近くの高齢者が利用されています。その利用者さんたちから勇気づけられたり、励まされたり、癒されたりしています。特に、「あなたはいつもニコニコしてて、笑顔がいいわね。元気がでるわ。」と言葉をかけてもらったのが印象に残ってます。笑顔には笑顔が返ってくる、優しくすれば優しさが返ってくるということを日々の介護の実践をとおして実感できる・・・介護福祉士はそういう職業だと思います。

この四月からは、新しい仕事もいくつか任されます。より一層の責任感と新たな意欲が湧いてきました。これからも利用者に寄り添いながら、自分自身も成長させていきたいと思います。

平成十五年度卒業　籠谷友美

「親子で聖徳十一年」

昭和六十年度卒業　赤間　みのり

私が三田の聖徳にお世話になったのは二十年程前でした。卒業後は地元の幼稚園に勤めていましたが、その間、三田の校舎に伺う機会は残念ながら一度もありませんでした。在学中の附属園での実習で聖徳の教育方針を学び、「特別なことではなく、本当に大切なことをしっかりと教える」が私の理想の幼児教育となりました。その理想を胸に子ども達と過した日々は、それは充実していました。その後結婚、退職して渋谷区に住んでいるのですが、十年程前のある日、ふと見覚えのあるバスが目の前を走って行きました。「あっ!!」それはあの懐かしい三田幼稚園の送迎バスでした。緑の屋根に可愛い動物。昔と変わらぬ姿を見た時、当時長女はまだ一才位でしたが「幼稚園は聖徳に」と決めていました。現在その長女、二女と続き三女が三田幼稚園にお世話になっています。偶然の再会から九年間、親子で十一年のおつきあいです。

今度は是非孫も…と思っております。

「卒業後十七回目の春を迎えて」

平成元年度卒業　壽田　幹恵(旧姓天羽)

先日幼稚園教諭時代の教え子が、大学の入学式を前に新しい友人が出来るかしら?と不安を打ち明けてくれました。思えば私も不安な気持ちで専門学校に入学し、学園長先生のお話を聴いていました。

三田幼稚園の入園式で泣いていた娘は休日も行きたがる程、園が大好きでこの春には年長になります。

親子二代で人として大切な聖徳教育をご指導頂き、感謝の気持ちで一杯です。お陰様で娘は挨拶が出来る子どもになりました。

学生当時、就職に消極的だった私を励まし温かい言葉をかけて下さった担任の先生、学務課の先生方のお陰で、七年間幼稚園教諭として頑張れました。聖徳で同級生だった友人は、現在も悩みを相談出来る大切な存在です。聖徳での経験は私と娘にとって財産となっています。今年度は幼稚園で二回目の役員をお受けして有意義な毎日を過ごしたいとはりきっています。

「大切な幼児期だからこそ…」

平成四年度卒業　齋藤　愛津

私は、四歳の頃から幼稚園の先生になる事を夢見て聖徳大学幼児教育専門学校に入学しました。卒業後、聖徳の元先生が園長をされていた園に八年間勤務しました。その経験から得た事は、乳幼児期における人間教育・生きる力を育てる事の必要性。大切な娘の人生の方向性を決めると言っても過言ではない幼児期の教育は、絶対に信頼できる聖徳学園三田幼稚園にお願いしたいとかつてから心に決めておりました。入園後、先生方の温かく細やかな御指導を受け、楽しみながらビックリする位さまざまな事を身につけ、我が子が頼もしく感じる事すらありました。私自身は、学生時代に学んだ事を生かし、現在プレスクールを経営しております。親子二代聖徳にお世話になり充実した日々を過ごさせて頂いている事をとても嬉しく思い、感謝の気持ちでいっぱいです。

卒業生のための研修会

第二十四回　リズム講習会

昨年、八月には恒例の運動会のためのリズム講習会第二十四回が開催されました。今回は、文部科学省「専修学校教育重点支援プラン」採択事業として、学校と同窓会の共催で行われました。

日時　平成十七年八月二十八日（日）
　　　午後一時より
場所　松戸校舎体育館
講師　本学短期大学部
助教授　中野真紀子先生

講習会には、附属の先生方を含め一一六名の参加者があり、活気のある講習会となりました。

「分かりやすい解説と踊りで楽しかった」「運動会、お遊戯会、その他いろいろな場面での保育に取り入れられるダンスでした」と参加して良かったという声が多く聞かれました。

今年もリズム講習会を予定しております。是非、リズム講習会に参加し、子どもたちのために、さらに自分を磨いていただきたいと思っております。

卒業生アフターケア

専門学校では卒業生アフターケア・リカレント教育の一環として、幼稚園教諭一種免許状等の「よりグレードの高い資格」への挑戦を支援しています。

また、十七年度より、「ピアノレベルアップ講座」を実施しております。発表会等で演奏する曲など、現在現場で弾いているものを中心に、専門学校ピアノ講師陣が熱心な対応をいたします。

さらに、情報化が進み、情報機器の必要性が高まってきた保育現場のニーズを反映し、「情報機器操作（初級）講座」と題し、パソコン教室を実施しました。事務的な処理の基本から幼児の教材作りなど、内容盛りだくさんの公開授業でした。

今年度も実施を（期日未定）予定しております。是非という方はご連絡ください。お待ちしています。

ご逝去された先生方

井上　治男先生　二〇〇三・五・二十五没
　聖徳大学幼児教育専門学校　教授

田中シゲ子先生　二〇〇五・一・二十八没
元ひじり会会長
　聖徳大学短期大学部　名誉教授

募金にご協力ください

平成二十年度、東京聖徳学園は創立七十五周年を迎えます。これも一重に皆様のお陰と感謝いたしております。

聖徳学園は今後の更なる発展を計り、多様なニーズに対応する学園作りのために多くの資金を必要といたします。出費多端の折とは存じますが、格別のご厚情により、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

お問い合せ先

「東京聖徳学園創立七十五周年記念事業」募金係
〒二七一－八五五五
千葉県松戸市岩瀬五五〇
［電話］
〇四七－三六五－一一一一（大代表）
［FAX］
〇四七－三六三－一四〇一

平成16年度　決算報告

平成17年3月31日現在

収入の部　(単位.円)

	科目	金額
維持金収入の部	前年度繰越金	13,761,281
	16年度維持金(200名)	1,600,000
	いきいき先生ヒント集	2,775,900
	総会会費他	455,867
	合計	18,593,048

	科目	金額
基本金	前年度繰越金	16,924,689
	16年度基本金(200名)	400,000
	利息	1,008
	合計	17,325,697

支出の部

	科目	予算	決算	内容
維持金支出の部	行事費	4,000,000	974,709	新入生お祝、卒業生記念品、総会
	通信費	700,000	617,030	はがき、切手、ひじり発送
	印刷費	500,000	184,147	ひじり、返信はがき
	会議費	300,000	119,633	幹事会
	慶弔費	300,000	50,000	学園お祝
	事務費	50,000	36,165	公立幼名簿、紙　ノート　他
	備品費	50,000	0	
	予備費	9,461,281	0	
	合計	15,361,281	1,971,684	

科目	収入	支出	繰り越し
金額	18,593,048	1,971,684	16,621,364

平成15年度　決算報告

平成16年3月31日現在

収入の部　(単位.円)

	科目	金額
維持金収入の部	前年度繰越金	15,965,984
	15年度維持金(168名)	1,344,000
	雑費	999
	合計	17,310,983

	科目	金額
基本金	前年度繰越金	16,584,943
	15年度基本金(168名)	336,000
	利息	3,746
	合計	16,924,689

支出の部

	科目	予算	決算	内容
維持金支出の部	行事費	1,000,000	249,825	新入生お祝いおかし、卒業記念品
	通信費	700,000	11,040	はがき、切手　他
	印刷費	500,000	0	
	会議費	250,000	133,897	幹事会
	慶弔費	2,500,000	3,123,275	学園・三田幼稚園　70周年お祝い 学園長先生お祝い　井上治男先生
	事務費	100,000	31,665	公立幼名簿　コピー、他
	備品費	50,000	0	
	予備費	12,209,984	0	
	合計	17,309,984	3,549,702	

科目	収入	支出	繰り越し
金額	17,310,983	3,549,702	13,761,281

編集後記

ひじり会会報「ひじり」はちょっぴりカラフルな会報に生まれ変わりました。いかがでしょうか。

さて、本号は日々進化している幼児教育専門学校、リカレント情報、卒業生の声を中心に編集いたしました。これからも聖徳学園の新しい企画や情報をスタンダードとしての会報「ひじり」がお届けできるよう努力していきたいと思います。

ひじり会の同窓会として、広く会員の皆様にいろいろな情報を知っていただきたく、同窓会のホームページを開きました。聖徳大学幼児教育専門学校の中の「卒業生のみなさまへ」のところをクリックしてみてくださいね。

SEITOKU

聖徳大学幼児教育専門学校の
詳しい情報を提供しています
http://www.seitoku.jp/kttcsu